

# 地域との連携・協働による 新しい高等学校づくり について

～日光明峰高校、馬頭高校を例に～

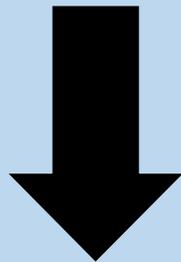


# 学校規模の適正化に関する考え方及び取組状況

## ●第一期県立高校再編計画（H17～H26）

○適正規模＝1学年4学級から8学級（1学級40人換算）

→ 適正規模未満の高校を中心に9組の統合を実施  
（H25年以降、3学級以下の小規模校がなくなる）



### 〔背景〕

○中山間地域など県の周縁部で

- ・高校教育を受ける機会の確保に配慮
- ・高校が地域振興に果たす役割への期待の高まり

## ●第二期県立高校再編計画（H30～R4）

○適正規模＝1学年4学級から8学級（1学級40人換算）

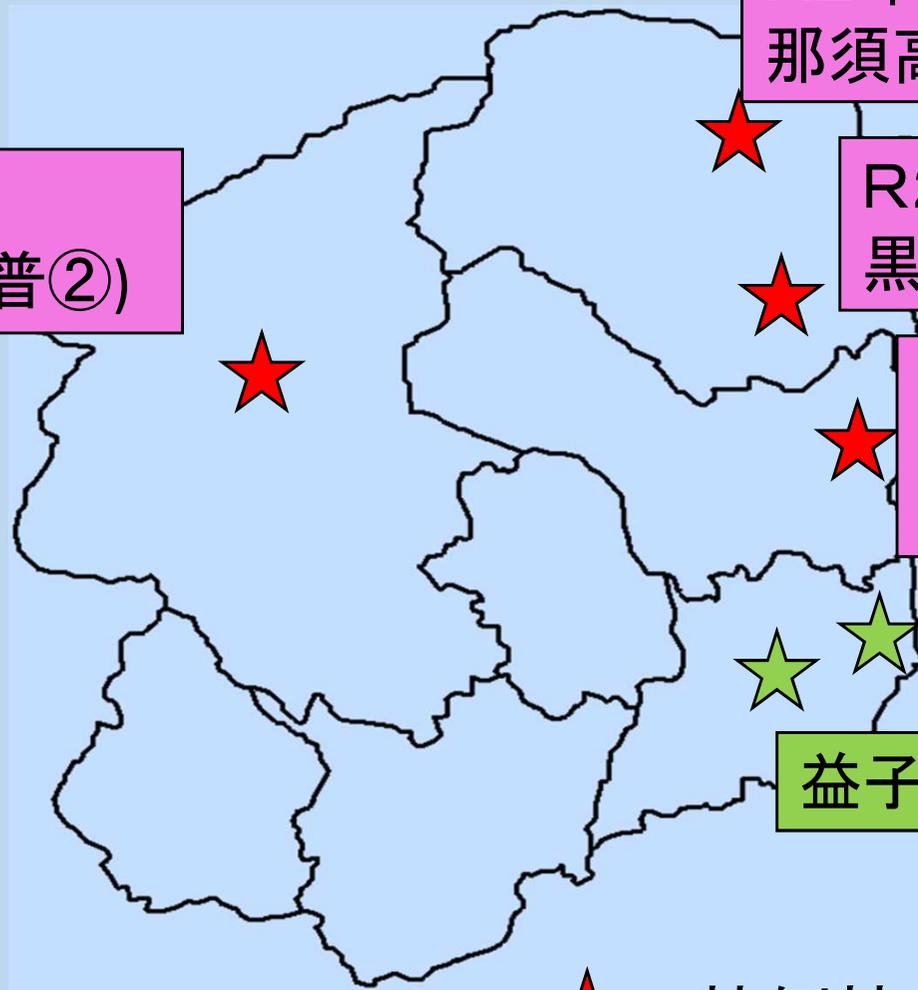
→ 1組の統合を実施予定

○規模の特例（特例校）

→ 県の周縁部にある一部の学校を特例として、適正規模未満で学校を維持

# 規模の特例(特例校・特例対象校)の考え方及び対象校

県の周縁部に位置し、中山間地域など通学不便な地域が広がり、近隣に他の高校がない学校は、**特例として、1学年3学級または2学級で生徒を募集**



R2年度～  
那須高校(普②商①) 単位制

R2年度～  
黒羽高校(普③) 単位制

H30年度～  
馬頭高校(普②水①)  
単位制

茂木高校(総④)

益子芳星高校(普④)

H30年度～  
日光明峰高校(普②)

★・・・特例校    ☆・・・特例対象校

# 学校運営協議会の設置状況について(第二期再編計画より抜粋)

特例校(特例対象校)では、学校運営協議会を設置するなど、地域と一体となって魅力ある学校づくりや地域を支える人材の育成に取り組み、生徒の確保に努めます。



# 日光明峰高校の 学校運営協議会の 状況について

## 日光明峰高校の特色

### ● 多様な学習ニーズに対応できるように4つのコースを設置

- ・グローバルコミュニケーションコース
- ・ウィンタースポーツコース
- ・サイエンスコース
- ・ビジネスコース

### ● 中学校段階の学習内容の学び直しの充実

「ベーシック数学」「ベーシック英語」などの基礎科目を開講

### ● 学校設定科目「日光学」を開講（H17年～）

日光市の自然環境、歴史や生活、文化の地域的特色について主体的に探究し、得た情報や資料を効果的に活用整理するとともに、日光の伝統文化の保護や継承を担う地域住民としての自覚を養う。

### ● ウィンタースポーツで活躍を目指す生徒を全国募集

アイスホッケーやスピードスケート競技において全国大会出場

# 日光明峰高校の学校運営協議会の取組と成果(H30年度)

## ●委員(13名)

地域住民、PTA役員、同窓会長、地元中学校長、地元小学校長、  
大学教授、市の行政部局職員、市の教育委員会職員、ウィンタースポーツ  
競技団体関係者2名、地元企業関係者2名、学校長

## ●協議内容(年4回)

第1回(6/21):学校運営方針の承認、学校の現状分析、学校の魅力化について熟議

第2回(7/26):学校魅力化アンケート報告、学校魅力化推進費の活用についての熟議

※広報小部会(イメージ戦略部会)の設置

第1回小部会(8/10):一日体験学習の実施内容、中学校への説明会

第2回小部会(8/30):学校説明会の実施、学校PR動画の作成

第3回(9/14):イメージ戦略部会からの提案、学校の魅力化策の進捗状況について

第3回小部会(11/12):先進事例の報告、中学校訪問報告

第4回小部会(1/29):先進校視察報告(12/19岡山県立和気閑谷高校)

第4回(2/22):今年度のまとめと来年度の活動方針

## ●協議会での主な成果

- ・学校魅力化推進費を活用した教育環境の整備  
(ウィンタースポーツの競技力向上に向けたトレーニング機器の整備など)
- ・地域への積極的なPR活動・地域連携の推進  
(学校説明会の実施、学校だよりの配布、高校生アカデミーの実施など)
- ・地域住民による下宿の整備(最大28名まで居住可能)、市営住宅の入居斡旋

**馬頭高校の  
学校運営協議会の  
状況について**

# 馬頭高校(普通科)の特色

## ●「那珂川学」を開講(H28年度より)

### 【目的】

- 地域の教育資源を活用した体験や交流を通し、**コミュニケーション能力**や**主体性、協働する力**を身につける。
- 課題探究を行い、地域の多様な**課題の解決策を提案・行動する力**を培う。
- 研究成果を、なかがわ学発表会において発表し、**表現力**を高める。
- 郷土愛を育み、**地域に貢献する態度や能力**を養う。

### 【対象】

- 1・2年生(総合的な学習の時間)
- 3年生(選択科目「総合社会」)

### 【主な取組】

- 5月 開講式、那珂川町長講話
- 6月 観光資源研究
- 7月 インターンシップ
- 9月 町内産業、伝統工芸・特産品開発体験
- 10月 町内商店街散策(地域課題の探究)
- 11月 地域行事への生徒参加(地域住民との交流)
- 12月 班別の地域調査、地域おこし研究(地域の課題解決学習)
- 2月 なかがわ学発表会(那珂川町主催)での成果発表



# 馬頭高校(水産科)の特色①

- 水産科では、**全国募集を実施**
- 取組事例
  - **全国で唯一**の内水面を専門とした水産科
  - **養殖**が中心  
(ウグイ アユ ナマズ ウナギ チョウザメなど)
  - 那珂川をフィールドとした**環境教育**
  - **食品製造**  
(魚醤 鮎の甘露煮 オイル煮 キャビア など)
  - 様々な体験活動
  - **課題研究**



# 馬頭高校(水産科)の特色②

## ●課題研究の主な成果

ホンモロコのふ化  
(H22.9)

全国水産高校初のウナギのふ化  
(H23.12)

全国水産高校初のキャビア生産  
(H28.2)

### 「ホンモロコ」ふ化成功

馬頭高水産科



#### 高級魚、水田で養殖可能

【那珂川】馬頭高水産科の生徒が、主産魚の高級魚ホンモロコの養殖実験を進めている。水田で養殖できるホンモロコは、全国的に生産が難しいが、本校では取り組む事例はほとんどない。今

#### 地域活性化へ実験継続

【那珂川】馬頭高水産科の生徒が、主産魚の高級魚ホンモロコの養殖実験を進めている。水田で養殖できるホンモロコは、全国的に生産が難しいが、本校では取り組む事例はほとんどない。今

ホンモロコの成魚

水田での養殖が全国的に拡大してきている。取り組むことで、水田の活用が期待されている。

本校では、水田で養殖できるホンモロコのふ化実験を進めている。水田で養殖できるホンモロコは、全国的に生産が難しいが、本校では取り組む事例はほとんどない。今

### ウナギのふ化成功

先輩の研究継ぎ9年目

馬頭高水産科 全国初

【那珂川】馬頭高水産科の生徒が、主産魚の高級魚ホンモロコの養殖実験を進めている。水田で養殖できるホンモロコは、全国的に生産が難しいが、本校では取り組む事例はほとんどない。今

ウナギのふ化成功

先輩の研究継ぎ9年目

馬頭高水産科 全国初

【那珂川】馬頭高水産科の生徒が、主産魚の高級魚ホンモロコの養殖実験を進めている。水田で養殖できるホンモロコは、全国的に生産が難しいが、本校では取り組む事例はほとんどない。今



ウナギのふ化成功

先輩の研究継ぎ9年目

馬頭高水産科 全国初

【那珂川】馬頭高水産科の生徒が、主産魚の高級魚ホンモロコの養殖実験を進めている。水田で養殖できるホンモロコは、全国的に生産が難しいが、本校では取り組む事例はほとんどない。今

### できた県産キャビア

那珂川 馬頭高生、チョウザメ養殖

ホテル総料理長 特製フレンチに

【那珂川】馬頭高水産科の生徒が、主産魚の高級魚ホンモロコの養殖実験を進めている。水田で養殖できるホンモロコは、全国的に生産が難しいが、本校では取り組む事例はほとんどない。今

キャビア(左下)を使って料理を作る相沢総料理長＝1日午後、那珂川町久那瀬

日本産試験場職員が担当し、相沢総料理長が生徒に指示しながら約1・2時間のフレッシュキャビアとした。相沢総料理長によると、「世界三大珍味」の一つといわれるキャビアは2500円も2万円もの値が付くこともある。相沢総料理長はキャビアと「那須御養殖」「八溝そば粉」などを使ってフランス料理を作った。

生徒らは濃厚なキャビア料理を堪能。3年相馬聖吾さん(18)は「キャビアが取れたこともうれしいし、料理は本当においしい」と感動していた。同校は今後もチョウザメの養殖を続ける方針だ。

(文・写真 近藤文則)

下野新聞  
平成28年2月2日  
1面

# 馬頭高校の学校運営協議会の取組と成果(H30年度)

## ●委員(10名)

地域住民(町議)、PTA役員2名、同窓会長、地元中学校長、町の教育長、地元水産業関係者(町議)、地元企業関係者2名、学校長

## ●協議内容(年5回)

第1回(5/23):学校運営方針の承認、学校の現状分析、学校の魅力化について熟議

第2回(6/25):学校魅力化アンケート報告、学校の魅力化策についてのワークショップ  
講話「隠岐島前高校魅力化プロジェクト」元隠岐島前高教諭 中村怜詞氏

第3回(7/25):県外先進校視察(福島県立只見高校、只見町教育委員会)

第4回(11/13):運営方針に関する取組状況、学校の魅力化策について熟議

第5回(3/19):今年度のまとめと来年度の活動方針

## ●協議会での主な成果

- ・学校魅力化推進費を活用した教育環境の整備  
(遠隔推進室の整備、なかがわ学に必要な備品の整備など)
- ・地域への積極的なPR活動・地域連携の推進  
(地元小中学校へ水槽を設置、町の広報誌やCATVを活用した学校PRなど)

# 特例校(日光明峰、馬頭)に対する 県教委の取組について

# 特例校(日光明峰、馬頭)に対する県の取組

## ●単位制の導入(※馬頭高校のみ)

- 生徒の興味・関心や進路希望に応じて職業系専門学科(農水商家)など多様な教科・科目を開設
- 学習習熟度別少人数授業の充実

## ●学校運営協議会の設置

- 地域住民や保護者、町の職員などを委員に任命
- 学校の魅力化に向けた取組や取組に対する地域の支援等について熟議

## ●特例校支援チームの設置

- 教育委員会事務局の関係各課室所の委員で構成
- 役割(学校の要望聴取、学校への助言、魅力化策の検討)

## ●特例校の魅力化に向けた取組を支援

- 学校魅力化推進費(H30年度:1校2,500千円)
- 学校運営協議会の意見も踏まえ用途検討(H30年度)

## ●研修会の開催

- 県立高校魅力化フォーラムを開催し、全国の先進事例について学ぶとともに、それぞれの学校が自校の魅力化策について熟議

# 特例校支援チームの取組(事例①)

## ●教職員対象のワークショップの実施(例:馬頭高校)

### [目的]

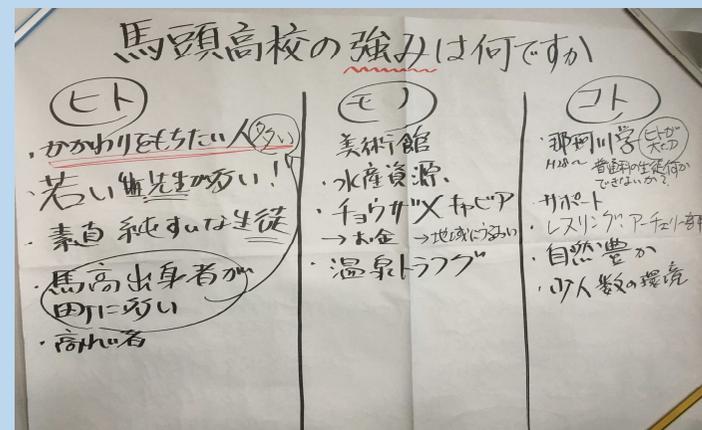
全教職員の共通理解を図ることで、**コミュニティ・スクールの導入に向けた意欲向上を図る。**

### [テーマ]

- 地域と連携、協働する良さや意義**
- コミュニティ・スクールとは何か**
- 馬頭高校の強みは何か**



↑全教職員で熟議(ファシリテーターは県教委職員)

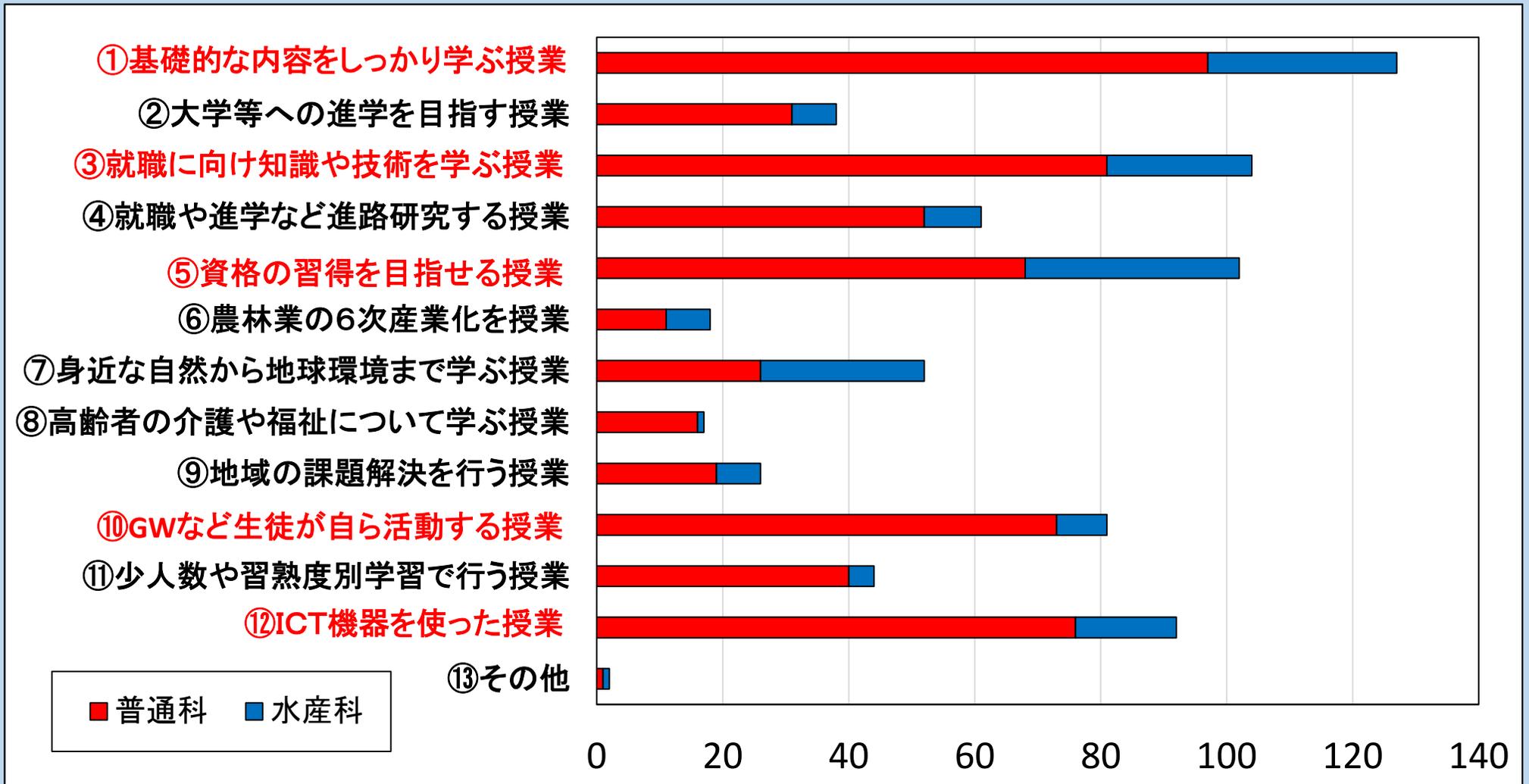


↑馬頭高校の強みは何か

# 馬頭高校支援チームの取組(事例②)

## ●生徒対象のアンケート調査の実施(例:馬頭高校)

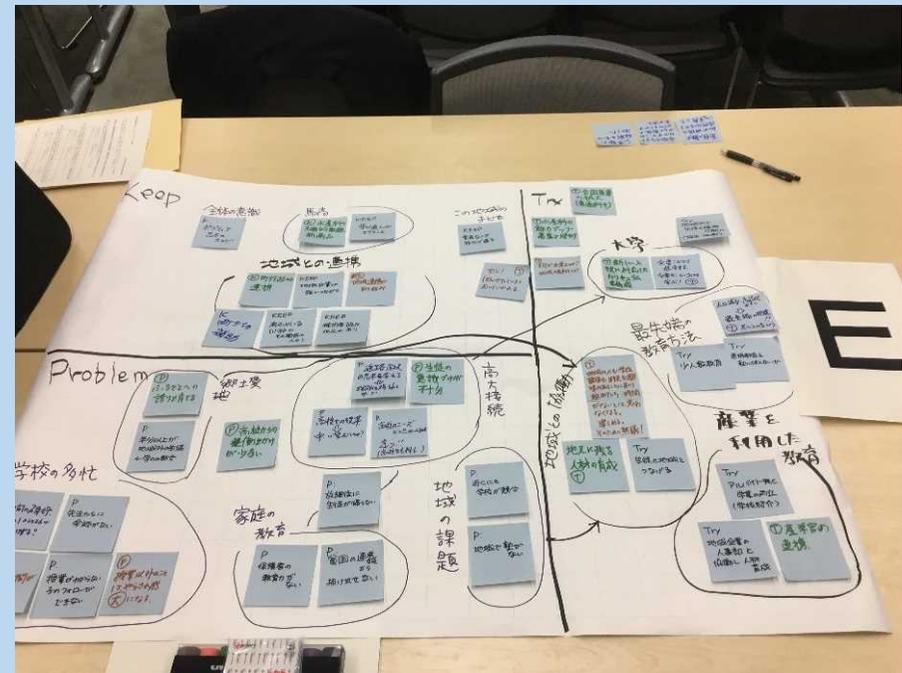
(質問) あなたは今後、馬頭高校においてどのような授業が充実したらよいと思いますか。



⇒ 生徒の意向を踏まえ、学校(授業)の魅力化策を検討

# 研修会(県立高校魅力化フォーラム)の開催

- 高校の魅力化に取り組む県立高校の**教職員**や**学校運営協議会委員**を対象に、北陸大学の藤岡慎二教授より、**高校魅力化に関する講演**及び、学校ごとに**魅力化策を熟議するWS**を実施



## ● 成果

- 社会に開かれた教育課程の実現に向け、**地域等との連携**や**協働の必要性**に対する理解が深まった。

## 留意すべきポイント

### ● 当該校や協議会に伴走する

- あくまで、協議会や学校が主体であることから、県教委の考えや先進事例の手法を押しつけない。  
明らかに、軌道修正が必要な場合は、校長を通じて指導・助言する。

### ● 県教委と学校との連携を強化する

- 学校運営協議会には、状況を把握できるよう、県教委も可能な限り出席して、復命等を関係課と共有する。
- 学校の要望や相談については、迅速かつ的確に対応する。

### ● 関係課と協働する

- 県教委の社会教育主事が当該校の校内研修を企画運営したほか、再編担当が他県の先進事例報告会を開催するなど、魅力ある学校づくりに一丸となって取り組む。

# 市町等からの支援について

## 日光市等から日光明峰高校への支援等

### 〔日光市〕

- 日光市主催「高校生アカデミー」(出前講座)の実施
  - ・高校生が魅力ある学校づくりについて熟議
- 県外入学者に対する下宿先の斡旋
  - ・市営住宅の入居優遇
- 市の広報誌に「学校だより」を折り込んで配布
  - ・H30.10月から毎月配布
- 下宿の運営者に対する補助金を予算措置
  - ・厨房機器の購入費用に対する補助(上限100万円)
- 日光アイスバックスと日光明峰高校の連携を推進
  - ・アイスホッケーの技術力向上等を支援

### 〔その他〕

- 地域住民が県外入学生のための下宿先を整備
  - ・最大で28名が居住できる民間下宿先を整備

# 日光明峰高校の県外入学者用の下宿について



※最大で28名が居住できる  
下宿先を地域住民が整備



## 那珂川町から馬頭高校への支援等

### ●「那珂川学」に関する支援

- ・「那珂川学」のフィールドワークへの協力
- ・なかがわ学発表会を主催

### ●通学費の補助

- ・月額1万円を限度として支給

### ●下宿費の補助

- ・月額2万円を限度として支給

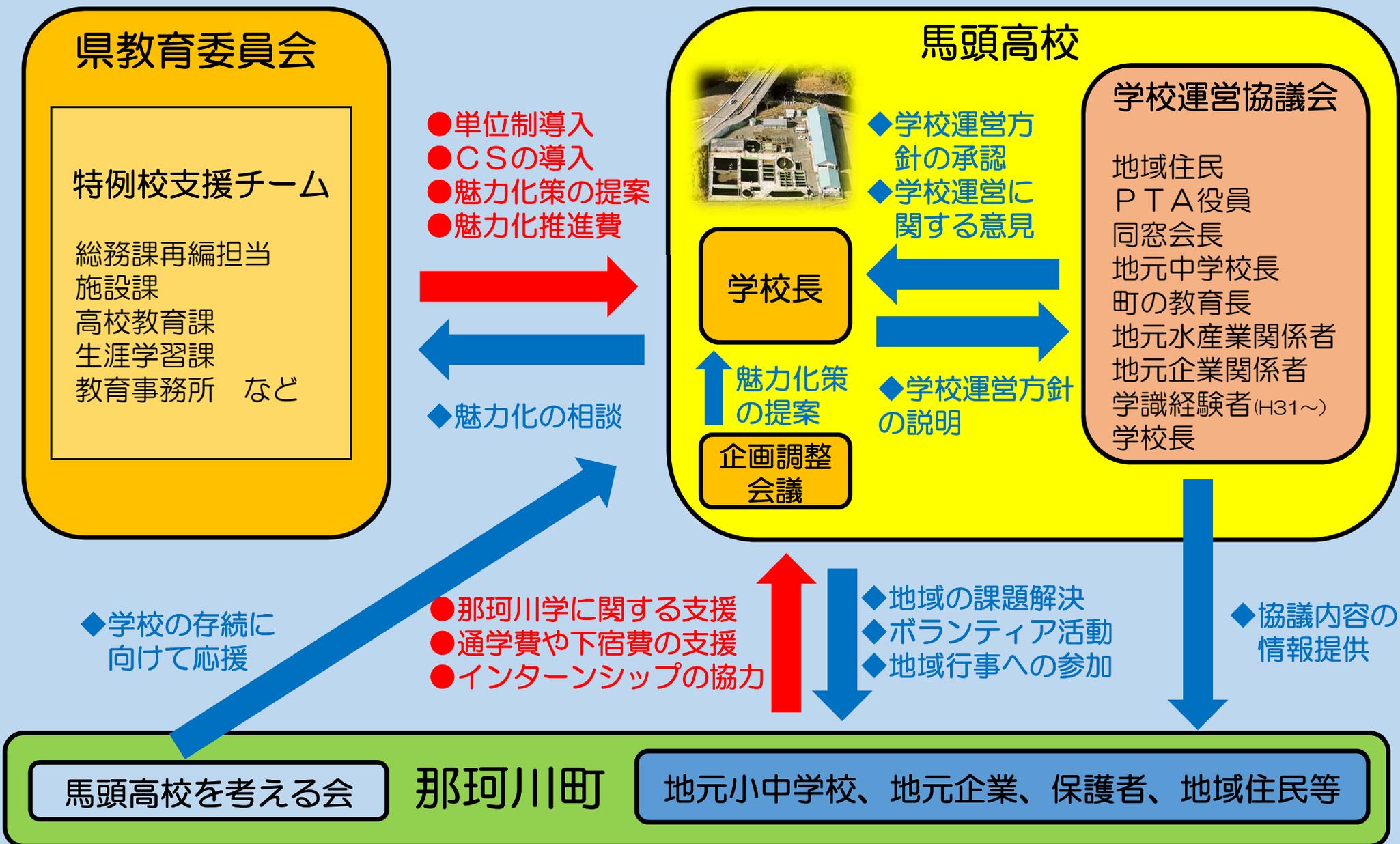
### ●地域連携

- ・那珂川町と包括連携協定を締結

# 特例校の魅力化の 推進体制について

～馬頭高校を例に～

# 馬頭高校の魅力化に向けた推進体制



# 地域との協働による 高等学校教育改革 推進事業について

～ 宇都宮工業高校、茂木高校 ～

# 栃木県立宇都宮工業高等学校(プロフェッショナル型)

## 「とちぎの共創型実践技術者」の育成

—地域との協働による高等学校教育改革推進事業—

### 共創型実践技術者

Co-creative Practical Engineer

● ロボットシステムインテグレーター

● デザイナーと共創できるエンジニア

● 起業できるエンジニア など



栃木県立宇都宮工業高等学校

—宇都宮市—  
宇都宮市経済部  
宇都宮市南図書館  
雀宮地区市民センター

—栃木県—  
栃木県教育委員会  
栃木県産業労働観光部

—公的試験研究機関—  
栃木県産業技術センター

—産業界—  
ロボット関連企業  
ソフトウェア開発企業  
自動車関連企業  
建設業協会

大学  
高等専門学校

日本弁理士会

足利銀行



技術経営(MOT)に関する知識の向上

リスクマネジメント能力の向上

デザイン思考・システム思考能力

知的財産に関する知識の向上

M2Mに関する知識及び技術の向上

技術英語活用能力の向上

とちぎものづくりコンソーシアム

# 栃木県立茂木高等学校(地域魅力化型アソシエイト)

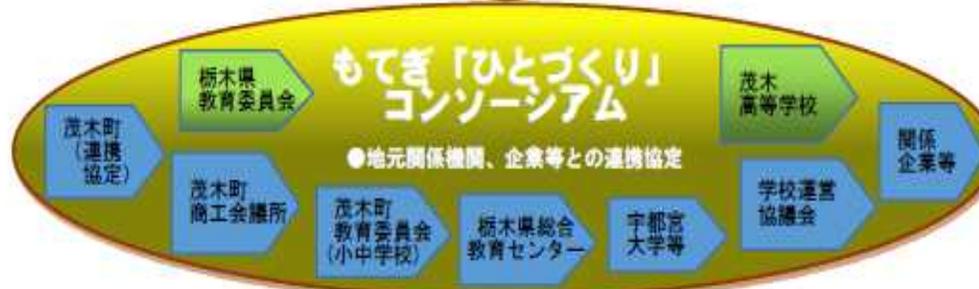
## 栃木県教育振興基本計画 2020 の基本理念

とちぎから世界を見つめ 地域とつながり  
未来に向かって ともに歩み続ける人間を  
育てます

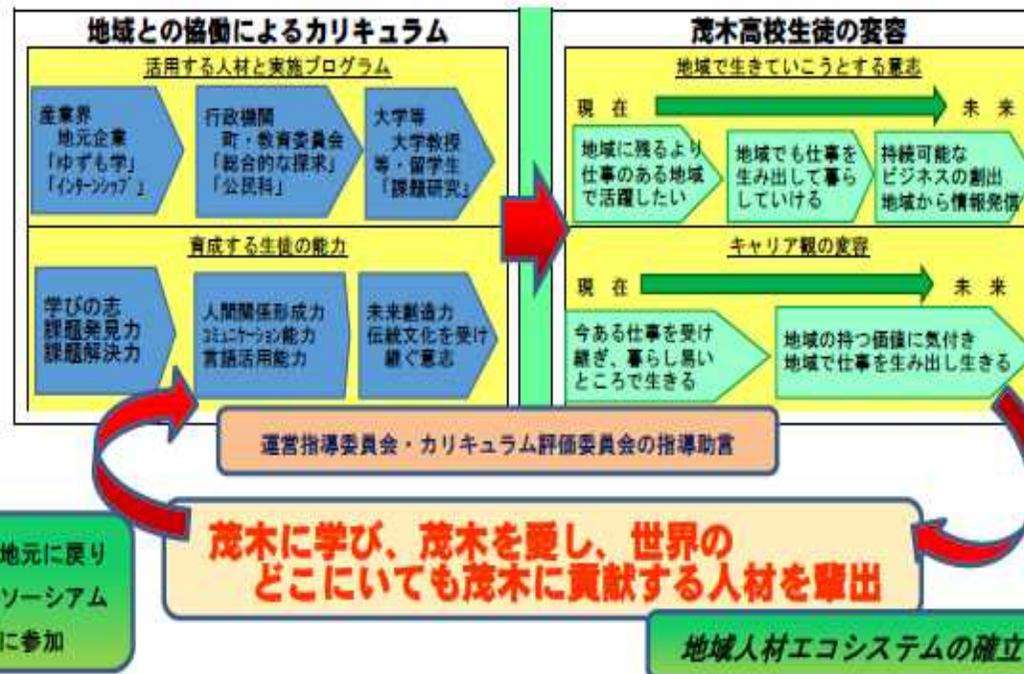
## 栃木県立茂木高等学校のミッション・ビジョン

地域に根ざした系統的かつ組織的なキャリア  
教育の充実を図り、地域を支える人材の育成

産学官連携等で、茂木町を支える人材を育成する  
カリキュラムを開発・実施するコンソーシアムを構築



## 地域人材・コンソーシアム活用における地域人材育成の仮説



御清聴ありがとうございました。



栃木県教育委員会事務局 総務課高校再編推進担当